

定期報告（ウルグアイ内政・外交：２０１６年７月）

【内政】

１ 政党の資金運用及び選挙広告に関する調査委員会の設置

上院は、政党の資金運用及び選挙広告に関する調査委員会の設置を決定し、２０日から議論を開始した。同委員会では、政党の資金運用の透明性確保のための法整備に加え、２０１５年の選挙活動経費において広告料が占める割合があまりに大きかったことから、テレビＣＭに制限を設けること等が検討される。与党拡大戦線（ＦＡ）は、得票数に応じた政党間での公的資金分配、民間からの寄付金の廃止、テレビの有料広告禁止を提案している。

２ ゼネストの実施

全国労働総同盟（ＰＩＴ－ＣＮＴ）は給与水準につき政府との合意に至らず、１４日にゼネストを敢行し、１００万人以上の労働者が参加した。

【外交】

１ ニン・ノボア外相の第１１回太平洋同盟オブザーバー会合出席

１日、ニン・ノボア外相はサンティアゴで開催された第１１回太平洋同盟オブザーバー会合に出席し、経済関係及び地域統合強化へのウルグアイの関心と意思を改めて確認した。

２ セーハ伯外相の訪ウ

（１） ５日、セーハ・ブラジル外相は、カルドーゾ元大統領と共にウルグアイを訪問し、バスケス大統領及びニン・ノボア外相と会談したほか、記者会見を行った。

（２） セーハ・ブラジル外相は、メルコスール輪番議長国についてコンセンサスが必要であり、決定する時期を遅らせるべきであると主張した。また、メルコスールは基本原則を犯さず、しかしよりダイナミックにすべきであると述べた。カルドーゾ元大統領は、メルコスールを活性化する必要があるとし、メルコスールを軽んじるという訳ではなく、加盟国がそれぞれの必要性により適応しやすくする可能性を与えることの重要性を指摘した。

（３） ウルグアイとの二国間関係に関し、セーハ・ブラジル外相は、ブラジルがサブサハラ地域及びイランとの経済関係強化に積極的であり、メルコスールとしてではなく

ウルグアイをパートナーとして取り組んでいきたいとの考えを示した。また、同外相は、バスケス大統領に対し、関係国間の協力による①ボリビアからラ・プラタ川に続く水路の輸送力強化、②武器や麻薬の密輸等の組織犯罪対策に向けた国境管理強化を提案した。

3 駐ウルグアイ米大使の着任

6日、ケイダーリング米大使が着任。同氏は職業外交官で、2013年にベネズエラで臨代を務めていた際、ベネズエラ政府から国外退去を命じられた経緯があり、今後の動向に注目が集まっている。

4 世界LGBTI人権会議の開催

13日～15日、ウルグアイとオランダの共催で世界LGBTI人権会議をモンテビデオにて開催。会議初日に「平等な権利のための連合」設立指針が公表され、各国の署名に付された。また、潘基文国連事務総長及びパワー米国連常駐代表がビデオメッセージを寄せた。同会議出席のためウルグアイを訪問したクーンデルス蘭外相は、ニン・ノボア外相と二国間会談を行った。

5 ガウク独大統領の訪ウ

14日～16日、ガウク独大統領はウルグアイを訪問し、バスケス大統領と会談後、共同記者発表を実施した。

6 ペルー大統領就任式出席

28日、センディック副大統領とニン・ノボア外相はペルーを訪問し、クチンスキー新大統領の就任式に出席した。

【治安・社会】

1 義務教育におけるドロップアウト・留年問題

公共教育公社（ANEP）が作成した報告書によると、小学校を卒業した児童の28.2%が中学校に進学しておらず、また20%が1年、6.4%が2年、1.4%が3年留年しており、改善傾向にはあるものの依然として高い数値である。UNICEFは、15～19歳

のウルグアイ女性の約8%が既婚であり、若年結婚も未就学の一因であると指摘。

2 軍政時のカトリック教会関連資料の公開

11日、ウルグアイ司教協議会は、カトリック教会が管理する軍政時(1973～84年)の資料を公開する旨ウルグアイ政府に伝達した。3月にフランチェスコ法王が在バチカン・ウルグアイ大使に情報公開の意思を伝えたものの、同手続きの開始にはウルグアイ司法協議会の同意が必要であった。当時の資料には、軍政下の強制失踪者等に関する情報が含まれている可能性がある。

3 グアンタナモ元収容者の出国及びベネズエラ政府による身柄拘束

27日、2014年12月にウルグアイが受け入れた元グアンタナモ収容者6名のうち、5月から行方不明になっていたジェハド・アフマド・ディヤブ氏が在ベネズエラ・ウルグアイ大使館に出頭した。同人はブラジルを陸路で縦断してベネズエラに入国し、トルコ又は第三国への渡航を希望していたが、退館後ベネズエラ内務司法省諜報局(SEBIN)に身柄を拘束された。

【要人往来】

○往訪

- ・ 7月1～2日、ニン・ノボア外相のチリ訪問(太平洋同盟関連会合出席)
- ・ 16日、ムニョス教育文化相訪亜(アンチセミチズム関連会合出席)
- ・ 29日、センディック副大統領及びニン・ノボア外相ペルー訪問(大統領就任式出席)

○来訪

- ・ 1～2日、ブレンデ・ノルウェー外相
- ・ 6～8日、マッタレッラ伊大統領
- ・ 12、13日、クーンデルス蘭外相(世界LGBTI人権会議出席)
- ・ 14～16日、ガウク独大統領

(了)